



CIVIC NEWS

府中市 まちづくりレポート Vol.031

【発行】 市民フォーラム
〒183-8703 東京都府中市宮西町2-24

立憲民主党
府中市議会議員 須山たかし

府中市の2019年度一般会計予算は1009億7000万円です。

2019年2月25日から3月22日まで、第1回府中市議会定例会が開催されました。

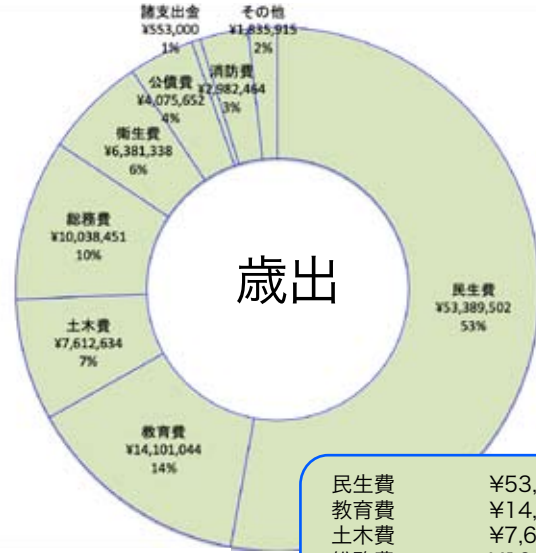
本年度は総額約1009億円の予算案が提案され、今年開催されるラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み

はもちろん、「同性パートナーシップ制度」の施行や「産後ケア事業」などの新規事業があります。

私たちが「支払った」税金がどのように使われ、私たちの生活や未来に返ってくるのかの議論です。市民フォーラムは予算案に賛成致しました。



市税	¥49,721,135
国庫支出金	¥17,907,027
都支出金	¥11,692,903
地方消費税交付金	¥4,616,184
使用料および手数料	¥4,132,949
繰越金	¥1,100,000
諸収入	¥2,589,062
繰入金	¥2,961,618
市債	¥2,548,200
その他	¥3,700,922



民生費	¥53,389,502
教育費	¥14,101,044
土木費	¥7,612,634
総務費	¥10,038,451
衛生費	¥6,381,338
公債費	¥4,075,652
諸支出金	¥553,000
消防費	¥2,982,464
その他	¥1,835,915

単位:千円

須山の主な質疑

●産後ケア（新規）事業に関して

Q.概要や対象は？

A.育児不良の解消や十分な援助がないなどの家庭を対象に、市内産科医療機関の協力で実現。

Q.利用は？

A.出産後4ヶ月以内、延べ7日間。

■要望

この事業は支援の必要な母子の健康だけでなく、児童虐待防止等にもつながる事業で評価出来ます。市内の産院だけでなく様々な団体との協力の和を広げ、産み、育てやすい府中へと進めていきたい。

●市立保育所のオムツに関して

Q.31年度から市立保育所のオムツ持ち帰りをなくすが概要は？

A.衛生面等を鑑み、市立保育所、14園で実施。

Q.ゴミの処理としては？

A.使用したオムツは園内で保管し、週に2回の回収事業系ゴミとして処理する。

●観光振興に関して

Q.本年度の特徴は？

A.外国人観光客向けに外国語ガイドブックやインフルエンサーなど、また、新宿ALTAや渋谷スクランブル交差点で市制65周年のPR動画を放送する。

Q.対象や目的は？

A.ラグビーW杯で見込まれる観光客向けに、府中を知って頂く為PR。

■要望

対象が不明確、且つ府中を知ってもらった後、来てからどの様に過ごすのか、そこまで考えなくてはいけないのではないかと

東京都31年度予算で観光振興に力を入れているので、都や関係機関と連携をし、市内外のみなさんが楽しめる府中を創って頂きたい。

■要望

須山も訴えてきたオムツの園内処理は衛生面や保護者の負担軽減につながる事業でとても評価ができます。

当初の試算よりも予算がかからずに出来たことも評価できるため、市内私立保育園にもこの流れを広げて頂きたい。

その他、骨髄ドナー、同性パートナーシップ宣誓制度、放射線量調査、食品ロスなどの質問を行いました。

電話リレーサービス

電話リレーサービスを知っていますか？聴覚に障害のある方がパソコンやタブレットなどのICTツールを活用し、通訳者を介して電話をかけるサービス。世界でも20カ国以上で採用されています。

この電話リレーサービスを立憲民主党としても進めるべきと考え、「インフォメーションギャップバスター」の皆さんをお招きして意見交換を行いました。都連の山花郁夫政調会長をはじめ、仲間の地方議員も参加してくれました。

「障害」は社会が責任を持ち、取り除いていくものであり、そのために様々な技術を活用して障壁を乗り越えていくべきだと考えます。だからこそ、この「電話リレーサービス」で「情報格差」をなくし、「誰もが電話を出来る自由」のある社会を目指していくことが必要だと考えます。



高校生たちとの交流

現在、「立憲民主党青年局副事務局長」を拝命しておりますが、青年局主催で「オイシイ!?おしゃべり会議」と題して、高校生と各級議員がお菓子をもち寄り、楽しく、真剣に社会を語ったり、悩みを相談し合ったり、と有意義な時間でした。若者が今、どんな悩みを抱えているのか、どんなことを考えているのか、を直接聞くことができ、我々の悩みなども聞いてもらいました。

これからの未来を創っていく若い人たちと直接会って、お菓子をシェアし、同じ目線で話すことで、少しでも社会や政治に興味を持ってもらえると嬉しいです。

立憲民主党はこれからも若者とともにまちづくり、国づくりを進めてまいります。



高校生たちとみんなで記念撮影

一般質問「不適切動画問題などメディアリテラシーをどう考えるか」

今年に入ってからまた報道される様になった「不適切動画問題」飲食店やコンビニなどのアルバイト店員が不適切な動画をSNSに投稿し、炎上するだけでなく、匿名投稿にもかかわらず、本人やお店などが瞬時に特定をされ、大きな損害が出るケースもあります。情報社会の中で早めに対応する必要があると考え、質問致しました。

「不適切動画問題」など、メディアリテラシーを府中市としてどう捉えているか？

A市内における児童・生徒のインターネットに接続可能な機器の所有率も高まり、低年齢化していることから、学校と家庭が一体となって、さまざまな情報モラルの課題に対して早期に対応することが重要であると捉えております。



『メディアリテラシー』の教育は何をしているのか？

A.本市独自の事業として子どもたちのインターネット利用の意識と実態を検証するため、全中学生及びその保護者を対象にアンケート調査を毎年実施し、その結果をもとに、「SNS府中ルール」リーフレットを作成し、全生徒に配布している。この「SNS府中ルール」をもとに、生徒一人一人がSNSや情報端末を適切に使用し、誰もが安心して充実した学校生活を送ることを目指し、生徒会リーダー研修会において「SNS府中市生徒会行動宣言」を作成し、各中学校において生徒会が主体的に啓発活動を行っております。

たかしの眼



インターネットやSNSは、世界とのつながりを簡単に、便利にしてくれたが、一歩間違えれば、不適切動画をアップして、社会的な責任を負うことになったり、悪口を書いたり、個人的な写真を送ってしまったりと、取り返しのつかない傷を負ってしまう可能性があります。

さらには、性ビジネスや反社会勢力につながっていく可能性がある中で、そのリスクから子どもたちを守るためには適切な教育と同時に、コミュニケーションや人権など、「心の教育」を進めることも肝心です。

地域の皆様のご協力も頂きながら心豊かでたくましい府中っ子を育てるよう、要望いたしました。

お知らせ

府中市議会議員選挙が4月14日告示で開催されます。投票日は4月21日（日）です。

- 期日前投票は
 - ・市役所と市政情報センターは15日（月）～20日（土）
 - ・東・西部出張所では17日（水）～19日（金）
- で行えます。

須山たかしプロフィール



1980（昭和55）年11月6日生まれ（38歳）。府中市晴見町育ち・在住。明星幼稚園、桐朋小・中・高校、早稲田大学社会科学部卒業。早稲田大学大隈塾においてジャーナリスト高野孟に師事（1期生）。大学卒業後、民間特許事務所に3年半勤務。その後、政党本部スタッフ、参議院議員公設秘書など国政に従事。蓮舫（れんほう）参議院議員の秘書を経て、2011年府中市議会議員に初当選。2015年2期目再選。現在、文教委員会 委員長 市庁舎建設特別委員会 委員 府中市民生委員推薦会委員 都市計画審議会委員 議会改革検討委員会委員 空家等対策審議会委員 市民フォーラム所属

地域での主な活動

- ・公益社団法人むさし府中青年会議所理事
- ・武蔵野府中ボーイズ名誉顧問
- ・Fuchu Rock Festivalメッパ
- ・府中ふれあいこどもまつり実行委員

mail suyama1980@gmail.com

HP <http://suyamatakashi.jp/>

TEL&FAX 042-307-8309



ご意見・ご要望お待ちしております！「府中市議会議員須山たかし」で検索

